

平成30年 水稻害虫トラップ情報（8月下旬）

1 アカヒゲホソミドリカスミカメ

(1) 畦畔に設置した性フェロモントラップによる第2世代の誘殺は、8月上旬の低温で発生時期は平年より遅くなり、8月中旬から始まりました。気温回復後、一時的に誘殺が増えましたが、第2世代誘殺数は平年並～やや少なく推移しました。

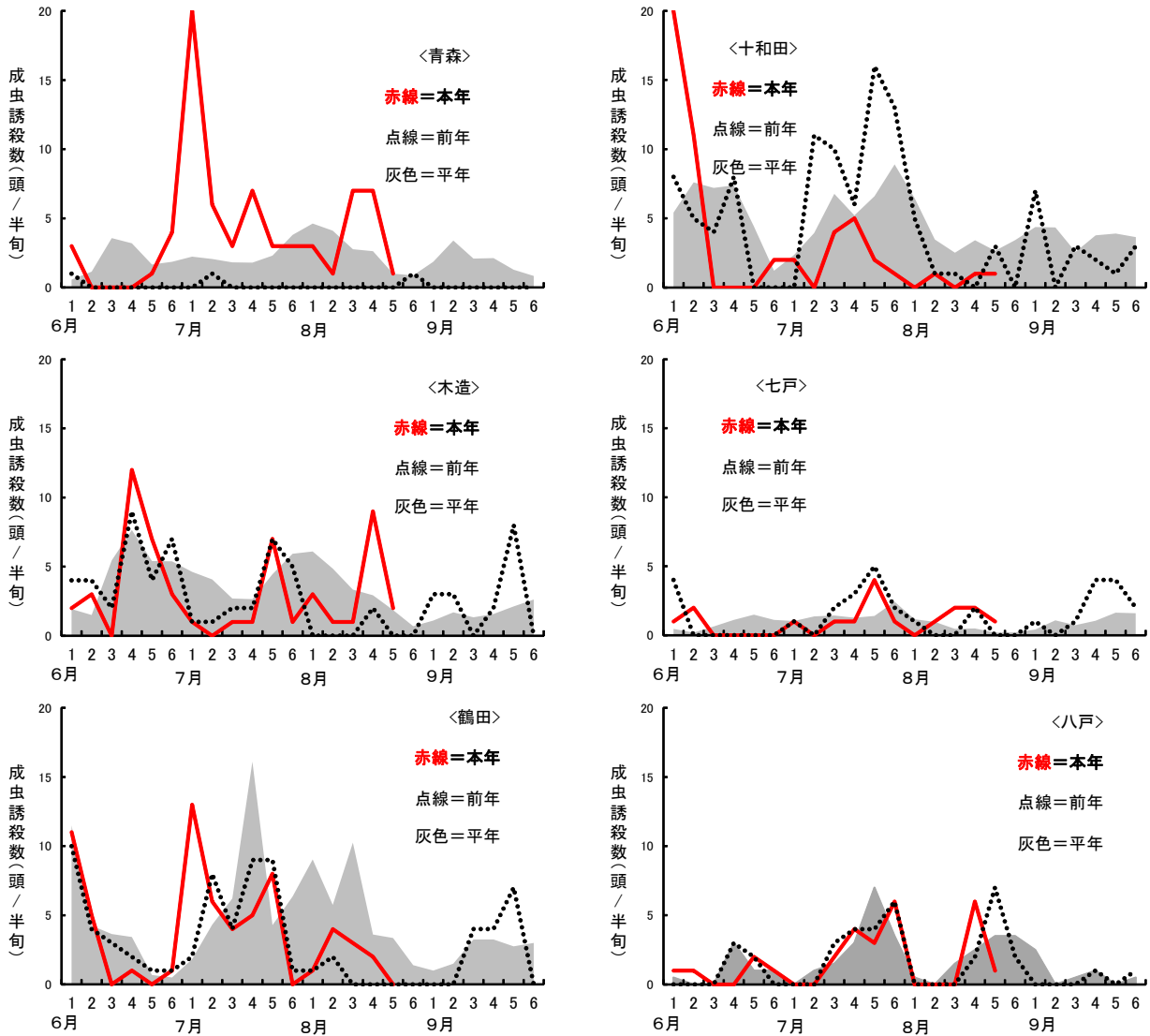


図1 性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

性フェロモントラップの誘殺数の8月第5半旬は、8月24日調査（3日分）での値
 平年値は、青森8年、木造6年、鶴田4年、十和田10年、七戸9年、八戸2年の平均値

(2) 予察灯でのアカヒゲホソミドリカスミカメ第2世代の誘殺は8月中旬から見られ、誘殺数は平年並～やや多い傾向となっています。

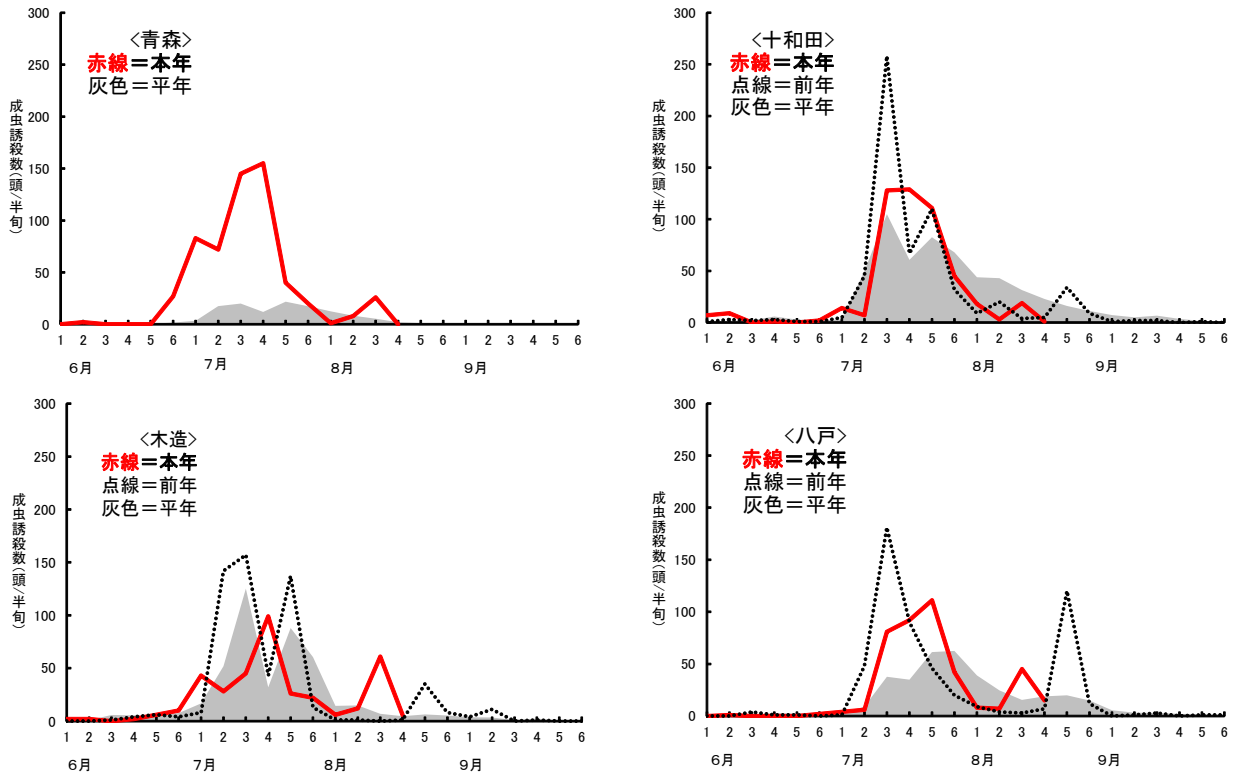


図2 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数
予察灯による誘殺数は8月20日分までの値
(青森は前年値なし)

2 アカスジカスミカメ

(1) 畦畔に設置した性フェロモントラップでは、第2世代と考えられる誘殺が青森と木造では8月上中旬に、七戸では8月下旬にが少数ありましたが、他の地点は7月以降誘殺されていません。

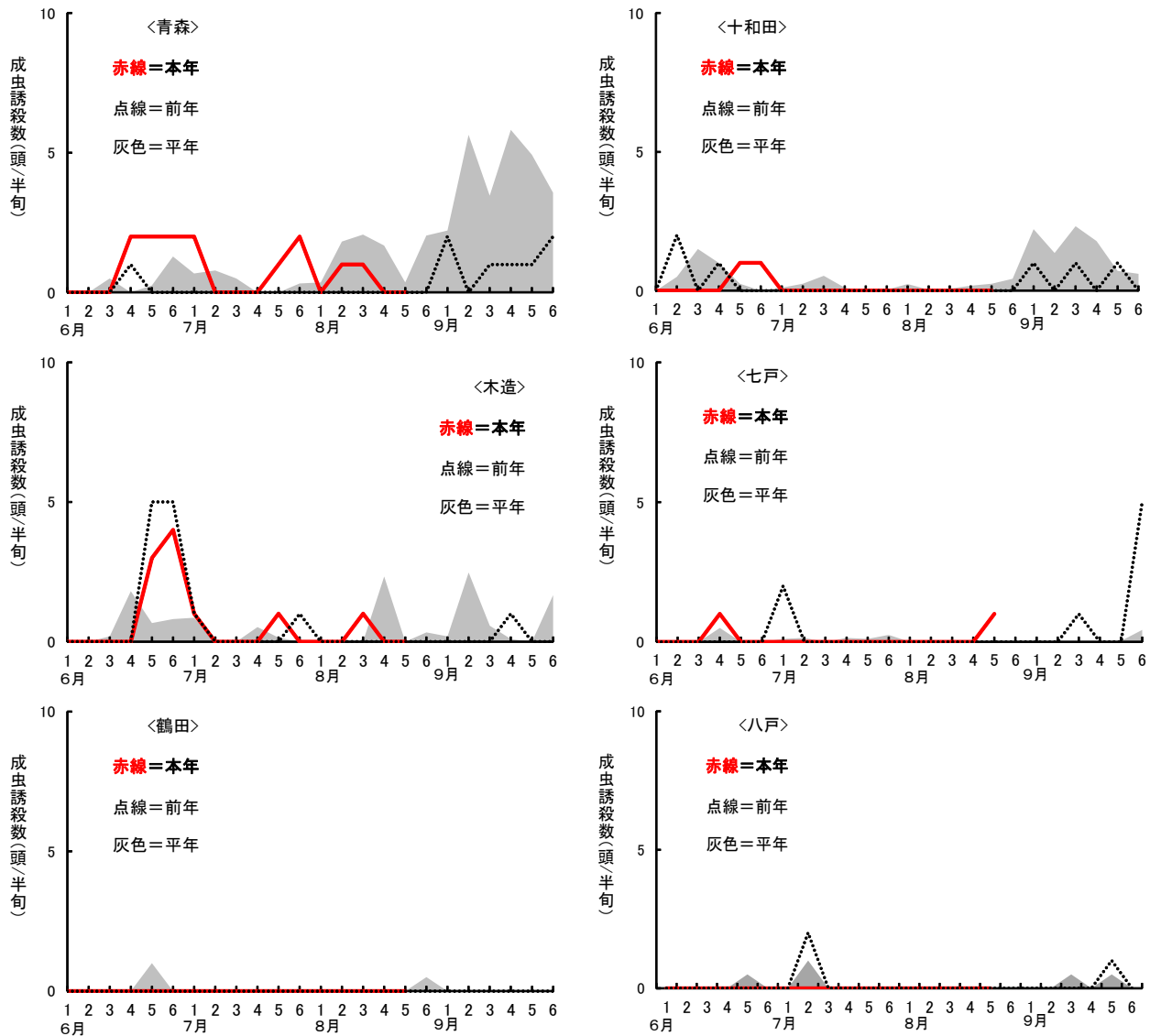


図3 性フェロモントラップによるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

性フェロモントラップの誘殺数の8月第5半旬は、8月24日調査(3日分)での値
 平年値は、青森5年、木造4年、鶴田3年、十和田5年、七戸5年、八戸2年の平均

(2) 予察灯では8月以降、平年並～やや少なく推移しています。

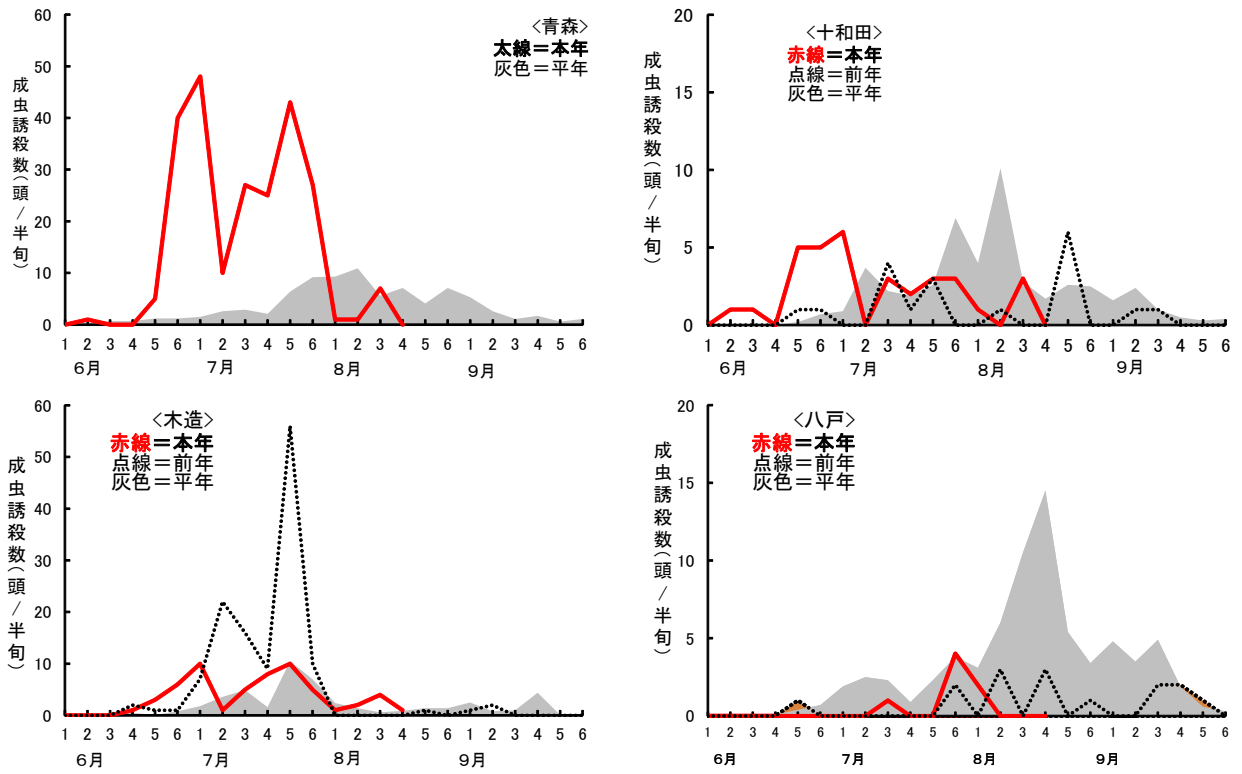


図4 予察灯によるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

予察灯による誘殺数は8月20日分までの値

(青森は前年値なし)

3 フタオビコヤガ

(1) 性フェロモントラップによる第2世代の誘殺は7月下旬から始まり、誘殺数は木造、鶴田で平年より多いものの、他の地点では平年より少なく推移しています。

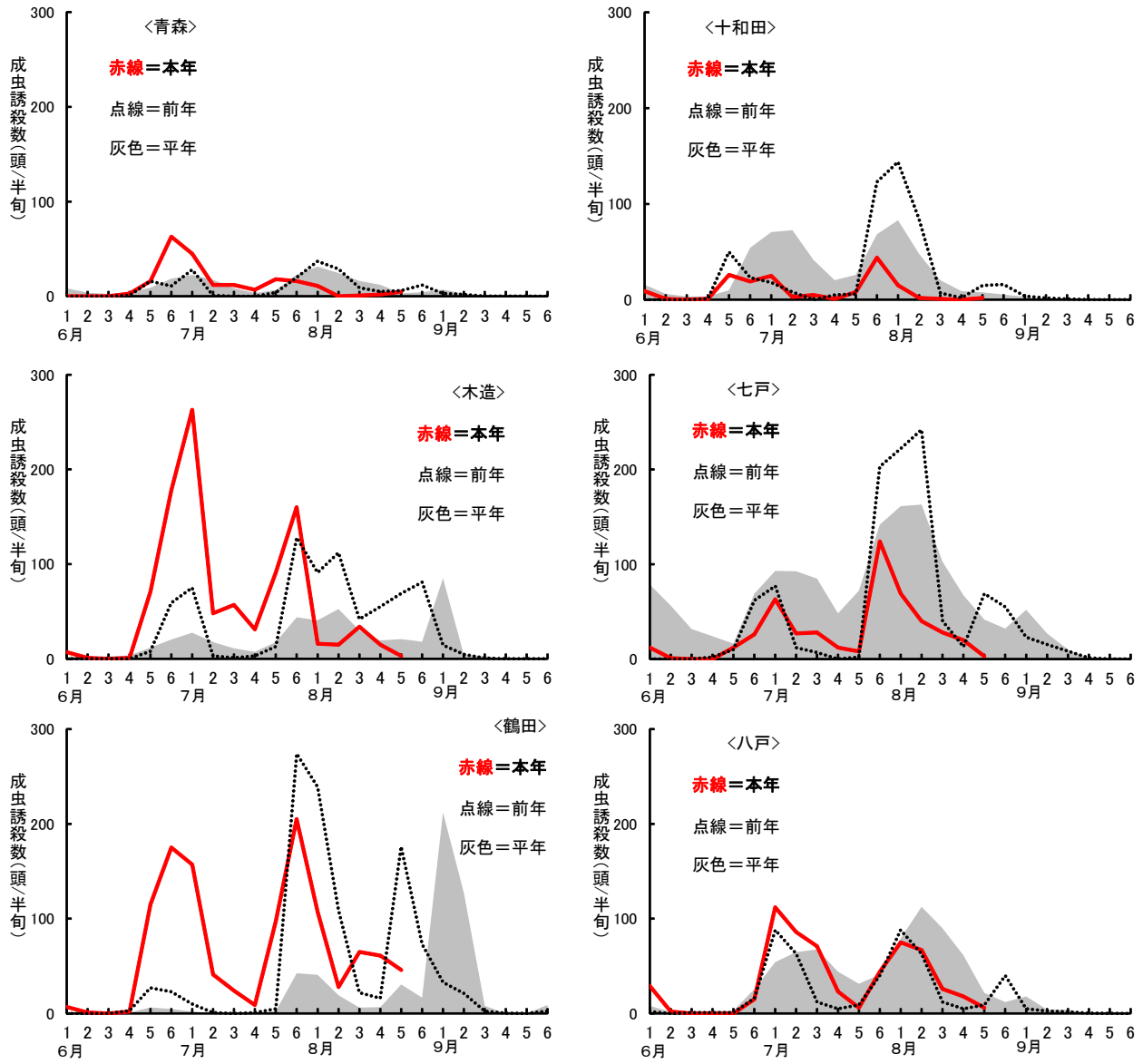


図5 性フェロモントラップによるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

性フェロモントラップの誘殺数の8月第5半旬は、8月24日調査(3日分)での値
 平年値は、各地点9年の平均

(2) 予察灯でのフタオビコヤガ第2世代の誘殺は、性フェロモントラップと同様に7月下旬から見られ、誘殺数は津軽地域では平年より多く、県南地域では平年並～少なく推移しています。

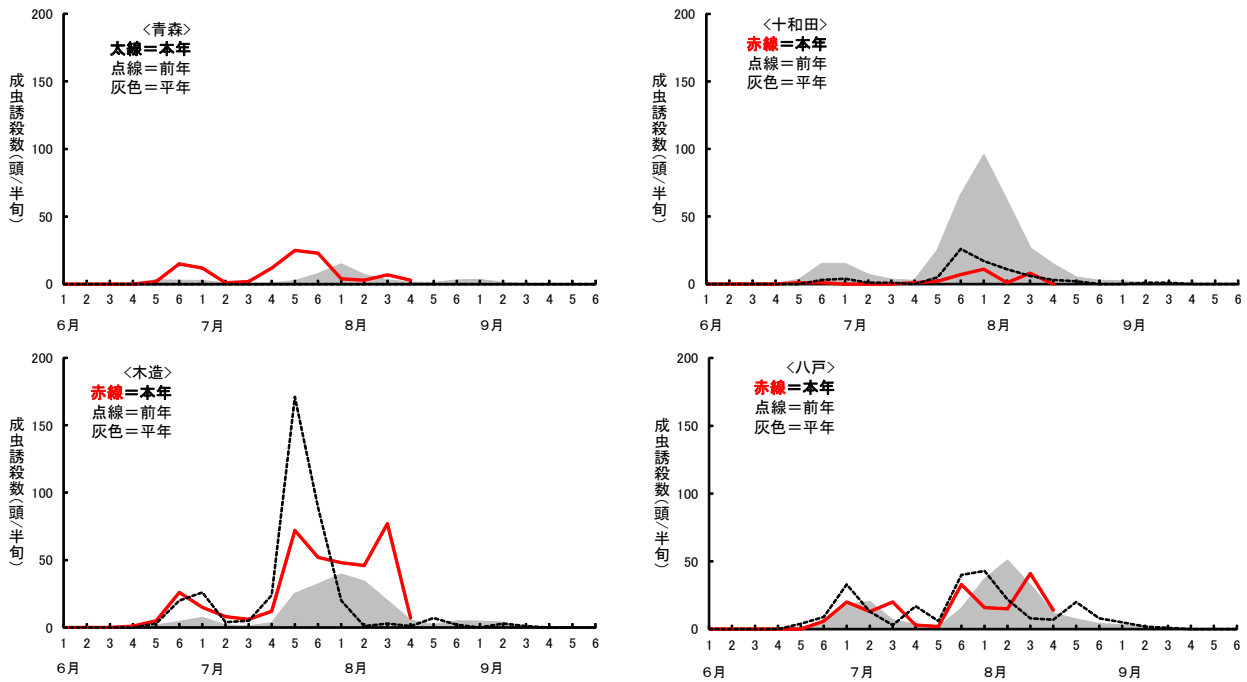


図6 予察灯によるフタオビコヤガの半旬別誘殺数
予察灯による誘殺数は8月20日分までの値
(青森は前年値なし)

《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6
TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900 担当:市田